



### 万博記念公園の 太陽の塔フィギュア

大阪では一家に1体あるという噂まである(?)太陽の塔のフィギュア。移住してきた新入りクンにプレゼントするもよし、70年代志向のサイケなあの子にあげるもよし。色は白と銀の2種があり、ノーマルな白にするかインパクト狙いで銀にするか、これも贈る相手次第。1,575円。



### [松岡製菓]の 満月ポン

全国区かと思いきや、実は大阪以外ではあまり流通しておらず、意外や地方からのお客さんのウケもいい。その昔駄菓子屋で焼かれていた「ボンせんべい」そのままの素朴な味ながら、街でも隠れファン多数。お土産には、個別包装のこの小判タイプがおすすめ。22袋入り350円。



### [こんぶ土居]の 十倍出し

いわゆるダシの素とは別物の「ほんまもん」。空堀商店街の老舗昆布店が、昆布、鰹節、塩と天然素材のみで作った濃縮ダシ。一度その味を知れば、今まで「ダシ」だと信じていたものが何だったのか、ときどき誰かが驚くはず。10倍に割って使うお手軽さもお土産に◎。200ml850円。



### [住乃江味噌 池田屋本舗]の 住乃江味噌

明治のはじめに誕生、住吉大社の宮司さんが名付け親という、由緒正しきおかず味噌。当主が今なお丁寧に作る住乃江味噌は、すみよっさん(住吉大社)参りの定番土産というエピソード付きで。ゴマが香ばしい甘辛味は、ご飯はもちろん、野菜スティックなどにも。200g1,019円。



### スルツとKANSAI 協議会の スルッピーペンシル

大阪が誇るサクラクレパスと鉄道・バスの共通カードシステムとのコラボ。加盟54社局の電車やバスをデザインしたケースに、車両イラスト入りの名前シールも付いた限定版。フタの裏には電車での正しいマナーの説明と、マナーには厳しくアートは自由に、の精神? 全12色1,000円。



### [鮎の豊下]の なにわの伝統鮎野菜

P84でご紹介した大阪伝統野菜が鮎に。勝間南瓜や天王寺蕪、田辺大根など、野菜の色や形を忠実に模した有平糖。野菜の絞り汁を炊き込んでおり、毛馬胡瓜なら青い香りに、金時人参は人参の風味。野菜を土産に持参するのは大変だけど、これならカバンに入る。840円。

# る。なにわ土産カタログ。

ごっつい「大阪魂」を家まで持ち帰ってほしい/持ち帰りたい。しかし、誰もが知ってる超定番じゃあ、なんだかなあ…。本誌が最後にお贈りするのには、必殺級なにわスーベニールだ。

取材・文/佐藤良子 福山嵩明 溝口久美(本誌) 撮影/川隅知明 藤田晃史



### 石見食品の ヘルメスソース



### 住吉大社の 招き猫



### [道頓堀 今井]の ちりめん山椒



### [アラビヤ珈琲店]の カップとコーヒー豆



### [和田萬]の 金の雫



### [四天王寺 西むら]の なにわ伝統野菜の漬物